

# 都市再生整備計画 第2回変更

ほこた  
鉾田地区

いばらきけん ほこたし  
茨城県 鉾田市

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	鉾田市	地区名	鉾田地区	面積	950 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

<b>目標</b> 大目標 市民の安全、快適便利な居住環境と健康増進を支援するまちづくり  目標1 小学校への安全な通学路の確保および地域住民が快適、便利な居住環境を整える。 目標2 健康増進施設周辺整備により施設機能を充実させ、市民一人ひとりの健康づくり環境を整える。 目標3 環境に配慮したまちづくりを行うことにより、市民と一体となった協働の環境共生社会を整える。
---

<b>目標設定の根拠</b> まちづくりの経緯及び現況 <p>○鉾田市は平成17年10月11日に1町2村が合併して誕生した市で、新市建設計画、「鉾田市まちづくり計画」の中でも新たな先進都市としてまちづくりが期待されている。</p> <p>○当区域内にある青柳小学校周辺道路は、地域住民の通勤や児童の通学路として利用されている。また百里飛行場周辺へのアクセスとして利用が予測されるが、路面に亀裂があるなど老朽化している。また、上水道が未整備であり快適、便利な居住環境とは言えない状況である。</p> <p>○市民一人ひとりの健康を支援するため、健康増進施設「ほっとパーク鉾田」を整備し、機能充実、来館者の向上を目指しているが、施設へ周辺からのアクセスするには道路が狭く歩道も無い状況である。</p> <p>○新市になり、これまでの個別の廃棄物処理から施設が一元化されたことにより、収集されるゴミの量や回収車の通行量も増えており、新市全体の環境負荷を軽減することによる環境への配慮が求められている。</p>
<b>課題</b> <p>○地域内の通学路である道路には老朽化から来る亀裂や段差があり、安全性確保の上から緊急に整備する必要がある。また、高齢者に配慮したやさしい、暮らしやすいまちづくりのためにも道路段差の解消が課題となっている。</p> <p>○また、青柳小学校周辺は上水道などのインフラが未整備のため、地域内住民には快適、便利な居住環境とは言えず、早急な整備が必要となっている。</p> <p>○市民一人ひとりの健康を支援するため、健康増進施設「ほっとパーク鉾田」を整備しているが、機能充実、来館者の向上を目指して、周辺施設の「老人福祉センターともえ荘」「総合公園」と連携したアクセス道路の拡幅整備が求められている。</p> <p>○高齢化社会の到来にあわせ、健康施策としての健康ウォーキングなどが実施できる、歩行者空間を整備する必要がある。</p> <p>○旧町村個別の廃棄物処理業務を一元化し、新市全体の環境負荷軽減のために施設周辺整備を行うこととなるが、あわせて廃棄物等の搬入車両の増加が見込まれ、施設周辺住民の交通、子どもの通学の安全確保が必要となる。</p>
<b>将来ビジョン(中長期)</b> <p>○住民生活の利便性、地域の発展性の向上などの観点から地域内外との連携を向上させる道路の充実に積極的に取り組む必要がある。</p> <p>○百里飛行場周辺として整備、利用が予測される地域である。</p> <p>○健康増進施設周辺は「健康、交流ゾーン」としての拠点となり、健康増進施設「ほっとパーク鉾田」「老人福祉センターともえ荘」「総合公園」を利用した、健康に関する各種事業やイベント、市民マラソン等を開催する。また、温泉施設として、観光客などの来訪者の施設へのアクセス性を高めて利用者増を図る。</p> <p>○環境負荷の低減を推進していくため及び地域の安全確保のために、廃棄物処理施設を含む周辺整備を行う必要がある。</p>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
安全、快適な道路機能	%	地域生活道路の路面段差率	青柳小学校周辺道路の路面老朽化に伴う、舗装面、側溝等の路面段差の解消を目指す。	70	H17	5	H22
健康増進施設の利用者数(一日平均)	人/日	施設の利用者	周辺の道路整備によりアクセスが向上させるとともに、敷地内にウォーキングコースを設置するなど、利用者数の維持を目指す。	624	H17	624	H22
ウォーキングコース利用者数	人/日	ウォーキングコースの利用者	整備したウォーキングコースを利用し、ウォーキング大会等を行なうことでコースの認知度を高め、利用者の増を目指す。	10	H21	15	H22
狭あい道路率	%	現状の道路を拡幅することによる安全性の確保	周辺の道路拡幅により、廃棄物運搬車等と市民のすれ違い時の安全性の確保を目指す。	70	H17	10	H22
廃棄物回収車の待避回数(平均)	回	整備路線における廃棄物回収車の待避回数	処理場への狭あいな道路を整備することで、回収車のすれ違い時の待避を解消する。	4	H17	0	H22

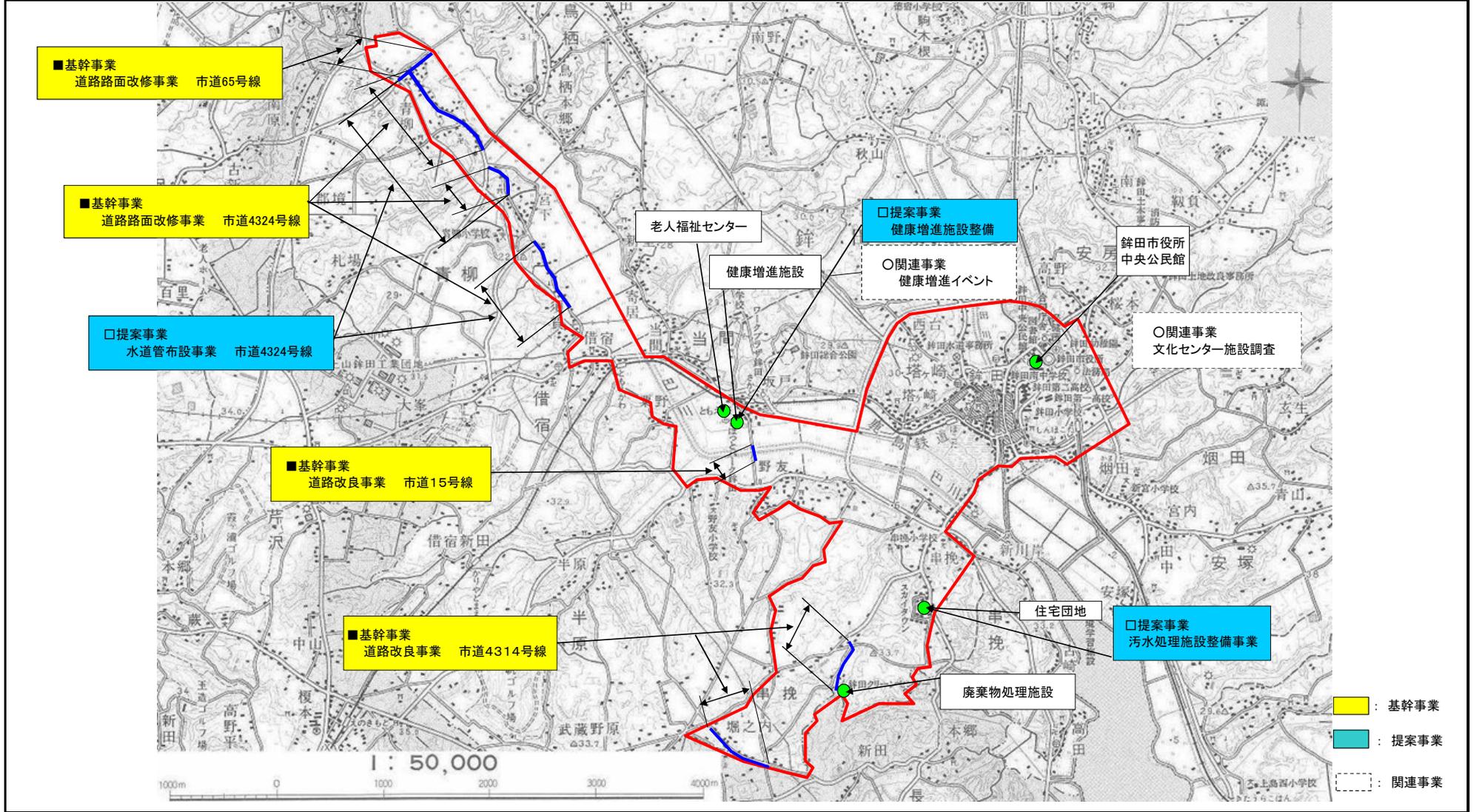
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●整備方針1(安全快適な道路整備)</p> <p>○小学校への安全な通学路の確保と高齢者に配慮したやさしい、暮らしやすいまちづくりのため、地域住民の快適、便利な住環境を満たすため、これまで老朽化し度重なる修繕により出来た路面段差解消の整備を行う。(市道4324号線の路面改修等 L=2,728m W=3.6 市道65号線の路面改修等 L=415m W=5.5 )</p> <p>○地域住民の快適、便利な住環境を満たすため上水道の整備を行う。(市道4324号線への水道管布設 L= 2,498m Φ75～Φ100)</p>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>道路(基幹事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道4324号線道路路面改修事業</li> <li>・市道65号線道路路面改修事業</li> </ul> <p>地域創造支援事業(提案事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上水道配管布設事業</li> </ul>
<p>●整備方針2(健康増進事業の推進)</p> <p>○市民一人ひとりの健康を支援するため、健康増進施設「ほっとパーク銚田」の機能充実、来館者の向上を目指すと共に、高齢化社会の到来にあわせ、健康施策としての健康ウォーキングなどが実施できる歩行者空間を必要とすることから、施設へのアクセス道路の拡幅、歩道の整備を行う。(市道15号線の道路改良及び橋梁改築等 L= 41.5m W=7.0m 2車線片側歩道付)</p> <p>○市民の健康増進を図るため、健康増進施設「ほっとパーク銚田」の敷地内にウォーキングコースの整備を行う。(健康増進施設整備 L=470m)</p>	<p>道路(基幹事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道15号線道路改良事業</li> </ul> <p>地域創造支援事業(提案事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進施設整備</li> </ul> <p>(関連事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進イベント(ウォーキング)</li> </ul>
<p>●整備方針3(安全快適な施設整備)</p> <p>○廃棄物等の搬入車両の増加が予測され、施設周辺住民の交通、通学の安全確保が必要となることから、現在の道路を拡幅し、安全確保のために整備を行う。(市道4314号線 L= 1,180m W=6.75m 2車線片側歩道付)</p> <p>○快適便利な居住環境と環境にやさしい地域づくりを推進するため、老朽化した汚水処理施設を整備することにより、環境負荷の軽減に努める。(汚水処理施設整備事業 600人槽)</p>	<p>道路(基幹事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道4314号線道路改良事業</li> </ul> <p>地域創造支援事業(提案事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水処理施設整備事業</li> </ul> <p>(関連事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化センター施設調査</li> </ul>
<p>その他</p>	



## 鉾田地区(茨城県鉾田市) 整備方針概要図

目標	市民の安全、快適便利な居住環境と健康増進を支援するまちづくり	代表的な指標	安全、快適な道路機能 (%)	70%	( H17年度) →	5%	(H22年度)
			健康増進施設の利用者数 (人/日)	624人	( H17年度) →	624人	(H22年度)
			狭あい道路率 (%)	70%	( H17年度) →	10%	(H22年度)



- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業